

# Promega Luciferase

皆さまと歩んだ30年、感謝を込めて!

## History

今も増え続けるデュアルアッセイ引用数!  
(\*Dual-Luciferase 検索文献数 PubMed調べ)

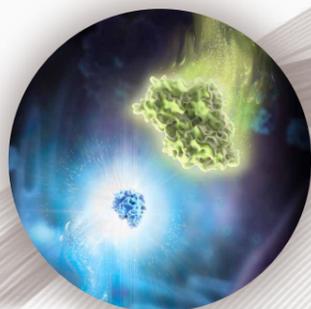


**1991**  
**Luciferase Assay System**

世界初のルシフェラーゼ発光検出キットとして、プロメガより販売

**1995**  
**Dual-Luciferase® Reporter Assay System**

内部標準を同時測定するデュアルシステムによりレポーターアッセイがよりソリッドな実験手法として定着



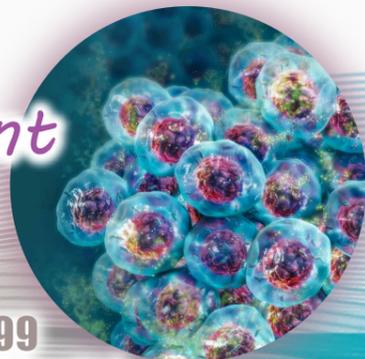
**1998**  
**Steady-Glo® Luciferase Assay System etc**

ルシフェラーゼ発光を長時間化することにより、マルチウェルプレートを用いたハイスループットスクリーニングにも採用



**1999**  
**CellTiter-Glo® Cell Viability Assay etc**

頑健な耐熱性 Ultra-Glo® ルシフェラーゼ開発によりATPやルシフェリンを生成する各種アッセイシステムを開発



Reagent

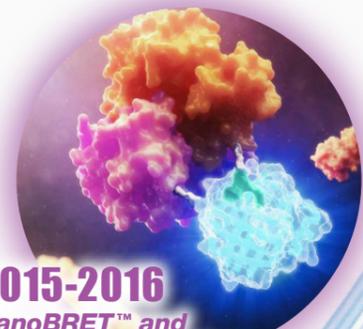
**2012**  
**NanoLuc® Luciferase System**

これまでより100倍明るく、小型のNanoLuc® ルシフェラーゼ開発により実験ツールとしての可能性が拡大



**2015-2016**  
**NanoBRET™ and NanoBIT® Technology**

生物発光共鳴エネルギー移動 (BRET) のドナーとしても優れる NanoLuc® と最適な蛍光色素を組み合わせたNanoBRET™ テクノロジー。NanoLuc® を大小2つのサブユニットに分割したNanoBIT® テクノロジー。アプローチの異なる新しい細胞内タンパク質相互作用解析ツールを提供



**2020**  
**Lumit™ Technology**

NanoLuc® 大小サブユニットで標識した抗体を用いた、洗浄不要のスーパーイムノアッセイで基礎分野から応用分野への飛躍をめざす!



**2019**  
**HiBiTノックイン細胞**

標的タンパク質内ローカスに発光ペプチドタグをノックインした細胞。タンパク質の発現や分解をリアルタイムに追跡可能



**2018**  
**ベクター・細胞構築受託サービス&コンサルティング**

ベクター作成から安定発現細胞の構築までを行う受託サービス。実験準備やアッセイデザインのコンサルティング、小規模オンラインセミナーも開始

**2012**  
**レポーター バイオアッセイ用細胞**

「試薬としての細胞」というコンセプトをもとに作成された細胞製品。ADCCやT細胞活性化などをレポーター発光シグナルで正確にアッセイ。抗体医薬開発やロットリリース試験に最適

Cell and Service



**2012**  
**RentaMAX 機器レンタルサービススタート**

最高の試薬パフォーマンス・アッセイを体感いただくために無償の機器レンタルサービス (プレートリーダー他) をスタート

\*Promega Club入会、試薬を購入いただく必要があります。



Luminometer

**1994**  
**プロメガ日本支社設立**

Promega Corporation の6番目の子会社としてプロメガ株式会社設立。日本における販売網整備、技術サービスを開始

**1996**  
**Turner Designs Luminometer Model TD-20/20**

フラッシュ発光が全盛期のルミノメーターでは試薬添加直後に測定する必要があるため、インジェクターが必須でした



**2004**  
**GloMax® 20/20 Luminometer**  
初めてのGloMax® シリーズルミノメーター。タッチパネルを採用し、操作性が飛躍的に改善



**2013**  
**新GloMaxプレートリーダー**

プロメガ高感度発光アッセイ試薬のパフォーマンスを最大限に引き出すプレートリーダー。アッセイプロトコルが予めインストールされ、簡単操作を実現



日本人ノーベル賞受賞者  
(医学・生物系)

2002

田中 耕一 先生  
生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発

2008

下村 脩 先生  
緑色蛍光タンパク質 (GFP) の発見と生命科学への貢献

2012

山中 伸弥 先生  
成熟した細胞を多能性を持つ細胞へと初期化できることを発見

2015

大村 智 先生  
線虫寄生による感染症に対する革新的な治療法の発見

2016

大隅 良典 先生  
オートファジーの仕組みの解明

2018

本庶 佑 先生  
免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用



ルシフェラーゼ 30周年記念企画  
ルシフェラーゼ大賞 キャンペーンサイト  
[promega.co.jp/luc30prize/](http://promega.co.jp/luc30prize/)